

人材開発分科会における 2020 年度実績評価及び 2021 年度目標設定について（案）

① 地域若者サポートステーションの就職等率

【2020 年度実績】

地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）の支援による就職等率は、目標 60%に対して、実績は 61.7%となっており、目標を達成。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響も踏まえ、オンラインによる利用登録を可能とするなど、サポステにおける柔軟な支援を可能としたことにより、コロナ禍においても一定程度継続して事業を実施できた結果だと考えられる。

【2021 年度目標】

目標値：地域若者サポートステーションの就職等率：60%

2020 年度目標を達成しているものの、引き続き新型コロナウイルス感染症が事業実施に与える影響が大きいと考えられること、また、2020 年度から支援対象としている就職氷河期世代の方々については複合的な課題を有している場合が多く、引き続き支援者の高いスキルが求められている現状などを総合的に勘案し、2021 年度における目標を 2020 年度と同じ 60%に設定。

② わかものハローワーク等を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合

【2020 年度実績】

わかものハローワーク等を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合は、目標 66%に対して、実績は 61.6%となっており、目標を未達成。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、正社員求人数が減少した（正社員求人数（有効求人数月平均）：99.2 万人（対前年度△21 万人（△17.4%）））ことのほか、緊急事態宣言の発令等により、一部のわかものハローワークの一時閉庁やセミナー等の各種メニューの中止・縮小等を行わざるを得なかった（セミナー：4,443 件（対前年度△2,576 件）、就職面接会：641 件（対前年度△555 件））ことによるものと考えられる（※）。

※わかものハローワーク等の新規登録者

2020 年度 17.9 万人（対前年度△2.3 万人（△11.3%））

わかものハローワーク等を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合

2020 年度 61.6%（就職者数 6.8 万人（うち正社員就職者数 4.2 万人））（対前年度△3.0%）

【2021 年度目標】

目標値：わかものハローワーク等を利用して就職したフリーターのうち、正社員として

就職した者の割合 64%以上

わかものハローワーク、ハローワークのわかもの支援コーナーやわかもの支援窓口を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合を目標とする。目標値については、過去3年間(2018年度～2020年度)の実績を踏まえ設定。

③ 就職支援ナビゲーター（旧学卒ジョブサポーター）による支援（正社員就職者数）

【2020年度実績】

就職支援ナビゲーター（旧学卒ジョブサポーター）の支援による正社員就職者数は、目標 17.8 万人に対して、実績が 15.9 万人（対前年度△2.5 万人（△13.7%））となっており、目標を未達成。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令等により、大学等への出張相談、職業講話を縮小又は中止せざるを得なかった（出張相談：27,048 件（対前年度△15,521 件）、セミナー1,640 件（対前年度△1,052 件））ことにより、新卒応援ハローワークの利用者数が減少した（32.4 万人（対前年度△3.9 万人（△10.7%）））ことや、コロナ禍において企業訪問による求人開拓が出来なかったことなどにより、求人開拓数が減少したこと（15.0 万人（対前年度△3.6 万人（△19.3%）））によるものと考えられる。

なお、特に上半期において、コロナ禍の影響を強く受け、全ての月で対前年同月比減となっているが、下半期においては、未内定者等に対する積極的な支援を行ったことにより、11 月以降は対前年同月比で増加に転じており、一定の実績を確保しているところであり、本事業による新卒者等への就職支援が、就職率の向上に一定程度寄与したものと考えられる。（2021 年 3 月大卒等就職率 96.3%、高卒就職率 97.9%）

【2021 年度目標】

目標値：就職支援ナビゲーターによる支援（正社員就職者数）：172,000 人

就職支援ナビゲーターによる未内定者等に対する就職支援を実施し、新卒者等の就職を促進するものであることから、2021 年度においては、引き続き就職支援ナビゲーターの支援による正社員就職者数を目標として設定している。2021 年度は、①支援対象者となる 2021 年度卒業予定の学生数、2020 年度未内定卒業生数等、②就職支援ナビゲーターによる大学等への支援の重点化の方針（対象の絞り込み）等を踏まえ、各都道府県労働局ごとに設定した目標を積み上げた全国値を目標水準として設定。

④ ジョブ・カード作成者数

【2020 年度実績】

ジョブ・カード作成者数は、目標 21.2 万人に対して、25.8 万人と目標を達成。

主な要因は、ジョブ・カード制度総合サイトによる作成者数増で、新型コロナウイルスの影響で自宅のインターネットで作成できる当サイトが有効活用されたことに加え、サイトのトップページを改善し各利用者の属性（個人、企業・学校関係者、作成支援者）に合わせたページにたどり着きやすいようにしたことが奏功したと考えられる。

【2021 年度目標】

目標値：ジョブ・カード作成者数:27.1 万人

2021 年度においては、2018～2020 年度の 3 か年の実績を平均して設定。

⑤ 公共職業訓練（離職者訓練）の就職率

【2020 年度実績】

公共職業訓練（離職者訓練）の就職率は、施設内訓練 80%、委託訓練 75%の目標に対して、実績（速報値）は施設内訓練が 84.2%、委託訓練が 69.7%となっており、施設内訓練は目標を達成、委託訓練は未達成となる見込みである。

未達成の主な要因は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い先行きの不透明感が強まったことから採用を抑制する動きがみられたことが大きいと考えられる。

【2021 年度目標】

目標値：公共職業訓練（離職者訓練）の就職率:施設内訓練 80%、委託訓練 75%

施設内訓練については、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構の中期目標において 80%以上と定めていることから、引き続き同値を設定した。また、委託訓練については、2019 年度に続き 2020 年度も新型コロナウイルス感染症の影響等により目標を下回る見込みではあるが、2017 年度及び 2018 年度は実績が 75%前後となっていることから、75%と設定。

⑥ 求職者支援制度による職業訓練の雇用保険適用就職率

【2020 年度実績】

求職者支援制度による職業訓練の雇用保険適用就職率は、基礎コース 58%、実践コース 63%の目標に対して、実績（2020 年 10 月末までに終了した訓練コースの修了 3 か月の就職率。速報値）で、基礎コース 50.9%、実践コース 58.5%とそれぞれ目標を未達成。

未達成の主な要因は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い先行きの不透明感が強まったことから採用を抑制する動きがみられたことが大きいと考えられる。

【2021 年度目標】

目標値：求職者支援制度による雇用保険適用職業訓練の就職率:基礎コース 58%、実践コース 63%

2020 年度の目標値（基礎コース 58%、実践コース 63%）及び過去 5 年間（2015 年度～2019 年度）の就職率実績（平均値：基礎コース 57.9%、実践コース 63.2%）を踏まえ設定。

⑦ 技能検定受検合格者数

【2020 年度実績】

技能検定受検合格者数は、目標は 21 万人に対して、実績が 299,599 人となっており、目標を達成。

なお、2020 年度の目標は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期試験を中止したこと、入国制限による技能実習生の受検減を加味して設定したもの。

【2021 年度目標】

目標値：技能検定受検合格者数：33 万人

合格者数の目標値は、平成 29 年度から令和元年度までの過去三カ年平均で設定。令和 2 年度は前期試験を中止したため設定根拠から除いた。